

桃園小学校・向台小学校統合委員会 要点記録

第 5 回

| | | |
|------|---|--|
| 開催日時 | 平成 29 年 2 月 8 日(水) 午後 6 時 30 分～8 時 20 分 | |
| 開催場所 | 向台小学校 会議室 | |
| 出席者 | 委員 | 金田一榮、小平一位、川本豊、加藤洋右、高橋智人、 神保亜理、越坂部千明、瀧本和江、木下克美、清水好博、 岩本昌夫、阿部正幸、奥愛、高木庸子、田中憲治、中村明子、 川畑伊豆海、松井貴子、浅野昭、板垣淑子 (敬称略、順不同) |
| | その他 | 子ども教育施設担当、パシフィックコンサルタンツ株式会社 |
| | 事務局 | 学校再編担当 |
| 会議次第 | 【報告】 1 桃園小学校改築の基本構想・基本計画（案）について 【議事】 1 統合時の校舎（向台小）の改修工事（予定）について 2 統合新校の校名の検討方法について 3 その他 | |

第 5 回 桃園小学校・向台小学校統合委員会 会議要旨

委員長

定刻となったため、これより第 5 回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。本日の統合委員会では、桃園小学校の基本構想・基本計画（案）に関係して、教育委員会の施設担当職員とコンサルタント会社の担当者が出席している。それでは、本日は議事に入る前に報告事項がある。まず、報告（1）桃園小学校改築の基本構想・基本計画（案）について、事務局の説明を求める。

1 報告

報告（1）桃園小学校改築の基本構想・基本計画（案）について

■資料「桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の整備基本構想・基本計画（案）」について、教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明

※詳細は、中野区教育委員会ホームページ「桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の整備基本構想・基本計画（案）」を参照。

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/655000/d023716.html>

委員長

今、説明のあった内容について意見・質問等あるか。

委員

図の中で網目になっている「屋外施設エリア」とは何を表しているのか。

区担当

運動場としての利用ではなく、遊具等を設置する予定の場所を網目にして表記している。

委員

前回の案よりも運動場が広くなって良くなっていると思う。校舎北側の空地については大分狭くなったと思う。図上に駐輪場の記載がないが、どの位置になるのか。

区担当

駐輪場の位置はまだ決めていない。設計の段階で検討していく。地域開放の施設もあるため、設置する必要があるとは考えている。

委員

校庭の面積に影響ないように、場所等を検討してもらいたい。

委員

校舎内の教室配置について、音楽室が普通教室と並んでいたり、北側の民家に近いところに配置がされたりしている案もあるので防音対策をしっかりと行ってほしい。

区担当

必要な防音対策は行っていく。また教室配置については、案としての提示であるため、これからは変わる可能性がある。

委員

3案の内容を読んだが、これまで統合委員会で出た意見がどのように反映されたのか、また反映できなかったのかを説明してもらいたいと思う。例えば小体育館や室内プール、屋上の遊び場等の意見があったと思う。全て反映するのは無理だと思うが、少しでも良い学校にしたいという気持ちを汲んでもらいたい。

資料4ページに、統合新校の児童数推計表がある。児童がこれから増えて普通学級を27教室用意するということであるが、そもそもこの統合は本当に必要なのか。統合を先延ばしにして、より深く検討・協議をしていく必要があるのではないかと思う。

また、「中野区立小中学校施設整備計画」における標準仕様では学校の望ましい規模が、小学校では12から18学級とあった。統合時は19学級の想定であるが、これから増えていくのであれば標準仕様そのものを見直す必要があるのではないかと感じた。

委員

校舎の改築等もあるので統合は仕方ないと思う。

区担当

統合委員会ではまず校庭の広さを確保してほしいというのが一番の意見であったと思う。また、児童数の増加を見込んで普通教室を27用意しておく必要がある。やはり普通教室が足りないというのが学校運営上一番問題になる。それらを優先的に考えた場合、意見にあった小体育館や室内プールは反映できなかった。

ただ、普通教室27というのはピーク時の数字だと思っている。現在は若干子どもの数が増えているが、全体では少子化が進んでいるため今後はゆるやかに減少していくと思う。これからは、普通教室を今のような一つの箱として区切っていくのではなくて、多目的に使えるような構造を考えることで、遊び場や多目的ホールのように2、3教室分を使えとか、様々な用途で使えるように工夫していきたい。

屋上の遊び場についても、屋上緑化との兼ね合い等を設計の中で考えていく必要があると思う。民家が近くにあるため、音の対策も考えていく必要がある。

委員

検討してもらいたい点がいくつかある。まず、災害が起こった時に体育館だけで避難所が確保できるのか心配している。そういう意味でも先ほどもあった小体育館等を再検討してもらいたい。

また、標準仕様通り屋上プールにするのであれば、目隠しや日除けになる屋根の設置について検討してもらいたい。

特別支援学級や学童クラブは、どのくらいの人数になると想定しているのか。この図面にある

場所で足りるのか不安である。

図工室について、谷原小学校に見学に行ったときに廊下に作品や荷物がはみ出しているのを見た。児童が増えて材料や作品も多くなるため、倉庫や準備室を広くしてもらいたい。

地域開放型学校図書館について発想は良いと思うが、図書館にどのような本を置くのか決まっているのか。この地域には本町図書館があるし、今後第三中学校・第十中学校統合新校の中に新しい図書館ができるということを考えると、利用者がいるのか疑問に思う。

屋上の太陽光パネルについて、北側に配置予定とのことであるがどの程度電力を作れると想定しているのか。資料17ページに「環境の実践的教材として」とあるが、そのために北側に配置するのか。

同じく屋上について、屋上緑化よりもやはり遊び場を検討してもらいたい。緑が必要であれば、校庭の芝生化も一つの案であると思う。前回配付されたアンケート結果にも校庭を芝生にしてほしいという意見もあった。いろいろ述べたが、反対意見ということではなく一つの意見として聞いてもらいたい。

区担当

持ち帰って検討しなければならないことが多いが、校庭の芝生化について回答する。中野区では天然芝の校庭の小学校が8校ある。一番新しい中野中学校は砂地に人工芝という校庭である。教育委員会では校庭を人工芝にして下駄箱を置かない、要するに校舎に入るときに靴を履きかえない方法も検討してはどうかという提案もある。そうすると昇降口の下駄箱置き場を有効に使える。天然芝の場合は、児童が寝転んで遊んだり、転んでも痛くないというメリットがあるが、養生中は使用できないというデメリットもある。どのような素材が良いのかも含めてこれから検討していく。

委員長

天然芝は手入れが非常に大変である。地域の人たちを動員して雑草を摘んでもらったりしている学校もあると聞く。またスポーツによっては芝生の上ではできないものもあるため、やるのであれば人工芝が良いと思う。

委員

天然芝の件については、一時ブームになりかけたが管理が大変だということで普及しなかったと聞いている。

委員長

芝生の校庭にするには土から変えないと根付かない。やわらかい土でないといけなないので、結果的にへこんだり段差が出たりしている。運動には適していないと思う。

委員

どの案も児童用の門が2カ所あるが、これは2カ所なければいけないという決まりがあるのか。

区担当

決まりというのはないが、前回の統合委員会でも意見があったが、向台小学校の学区域から通学する児童が早く敷地に入れるように南側にも門を設置する。

委員

では、基本的に正門はどちらの門で考えているのか。

区担当

最終的には学校で決めてもらうことになるが、資料では現在の桃園小学校正門と同じ東側を考えている。

委員

先ほど限られた敷地の中で必要なものを入れていくので、小体育館や室内プール等は厳しいということであったが、そもそも学校教育の場に学校以外の物を入れているので場所が足りないのではないかと。学校教育で使う施設が第一という前提に立って検討してほしい。

委員

子どもたちの放課後の居場所として、学校施設の中にキッズ・プラザをつくっていく方針であ

る。地域開放型学校開放図書館については、図書館の計画の中で統合する学校についてはそういったものを入れていきたいということで、中野区 10 か年計画の中で説明をしながら進めている。地域の中の学校ということで、学校の中に地域の方が利用できるようなものも整えていきたいということである。

委員

谷原小学校を見学したが、図書館も普通の図書館と同じで利用者も多くなかった。利用頻度という点からすると、その図書館にスペースを与えるのはどうかと思ってしまう。

事務局

谷原小学校では乳幼児の親子が利用していた。たくさんの方に利用してもらえるように工夫したい。

委員

子育てひろばや学童クラブがある児童館を廃止し、これらの機能を安心だからといって学校に押し付けているが、子どもの安心の確保と子どもの居場所をなくすのでは意味が違う。児童館廃止について反対意見を出していたが、結局は方針が決まったと聞いている。「地域開放」「地域の住民にも開かれた」という耳あたりの良い言葉を使用しているが、地域開放型学校図書の設定は本当に必要なのかと疑問に思っている。学校は学校の機能を果たすことが第一であると思う。

委員

子どもの体力の低下が問題となっている。いま少し上がったということであるが、昔から比べると随分下がっている。何をやるにも体力は必要だと思うので、健康づくりももっと考えてもらいたい。

委員

校庭や体育館の開放について、町会のお祭りや防災訓練等の際には優先して貸してもらいたい。

委員

校庭開放等の所管に伝える。

委員

平成 34 年度の児童数が 691 名と推計されているが、それ以降の推計はあるのか。その人数を先生方が頭の中で想定して、この施設で学校運営ができるかという意見を聞いてみたい。

委員

平成 34 年度以降は今後生まれる子どもの数も推計しなければいけないため難しい。中野区 10 か年計画で人数の推計を出しているが、年少人口のピークは平成 32 年頃となっている。

委員

人数が増えても教室があれば、授業については問題ない。問題なのは、校庭の 1 人当たりの面積が少なくなると怪我が起きやすくなるということである。実際に建ってみないとどの程度になるかわからないが、怪我が起きないように指導していきたい。

委員

体育の授業時間をどう確保するかが課題となる。

委員

以前勤務していた児童数が多い学校では、小体育館ではないが活動できる日よけの場所があり重宝していた。そういう多目的室とは違った活用ができるスペースがあれば良いと思う。

区担当

今回の案でも多目的室とランチルームは常時使う部屋ではないため、隣り合わせの配置にしている。一応部屋として区切るが、壁を抜いていろいろな用途で使えるようにしたい。

委員

プールについて、前回の統合委員会の時に授業数が足りなくなる恐れがあったという発言があった。標準仕様のとおり屋上にプールを作った場合、授業時間が確保できなくなるのではないか。

区担当

天候などは想定が難しいため、どういう条件を想定するかで変わってくると思う。また、室内

プールを作る場合には工期や金額面で課題がある。また、使用する期間が3～4か月と短いところに維持管理費等がかなりかかるため難しいと思う。

委員

学校の図書館は開放すると決まったのに、なぜプールは開放しないのか。開放することになれば中野中学校や第二中学校のように室内プールにできる。

区担当

直接の担当でないため詳細は分からないが、どこを拠点として開放するかなどは区全体のバランスで考えていると思う。昨年、富士見中学校跡地に開放用のプールができています。

委員

今年度、進級テストがどうしても間に合わなくて大雨の中プールに入ったということがあった。そういうことがあったといことも知っておいてもらいたい。

委員

プールについては、室内プールが無理であれば現実的にできるところを考える必要があると思う。屋上に設置した場合、日除けの屋根が付けられれば小雨でも授業ができると思う。ただ、震災の際にどの程度強度があるのか不安に思う。

委員

南中野中学校の可動式の屋根はどのくらいのコストがかかったのか。

区担当

既に屋上のプールを設けている小学校が区内にもある。また、先日第三中学校・第十中学校の設計について業者から説明があったが、プールと建物を一体にしたほうが災害時に様々な用途で利用が可能ということであった。水道が止まった時も、プールの水をトイレに利用できるようになるということである。強度については、設計会社とも十分相談して決めていきたい。

南中野中学校の可動式屋根について、具体的な金額は分からないが、あのような屋根も建物の一部としてみなされるため高さ制限や日影規制に引っ掛かってくる。

委員

桃園小学校には以前西側にも出入り口があった。西側にも門が作れないか検討してほしい。

区担当

管理上の問題もあるが、主に使用する門以外にも避難用・緊急用の門も必要になるので、学校の意見を聞きながら検討していく。

委員

乳幼児の保護者の中でも本当に統合が必要なのかという声が上がっている。きちんと検討・周知してほしい。また、学童クラブの大きさが十分なのか気になっている。小学校では仕事をしている母親が半数以上いると聞いている。

区担当

所管に伝える。また、2月13日（月）・19日（日）に基本構想・基本計画（案）の意見交換会を弥生区民活動センターで行う。学童クラブ等の担当者も出席する予定である。

委員

この意見交換会の議事録は公開するのか。

区担当

どのような意見があったかは区議会でも報告する。出された意見を踏まえて最終的な基本構想・基本計画を策定する。

委員長

他に意見等あるか。ないようであれば、議事に入る。

2 議 事

議事（1）統合時の校舎（向台小学校）の改修工事（予定）について

■資料「統合時の校舎（向台小学校）の改修工事（予定）について」、教育委員会事務局副参事（子ども教育施設担当）から説明

改修時期（予定）

【第1期工事（平成29年度）・第2期工事（平成30年度）】それぞれ夏季休業中

※足場の撤去等で改修期間が長引く場合もある

改修の内容（予定）

（1）普通教室等の整備

- ・統合新校の学級数を20学級と想定し、普通教室を整備（平成29・30年度）
- ・桃園小学校に設置されているひまわり学級（特別支援学級）を整備（平成30年度）
- ・多目的室や資料室等、諸室の確保（平成29・30年度）

（2）給食室の改修

- ・児童数増に対応するための給食室の改修（平成29・30年度）

（3）施設の安全性を向上させるための改修

- ・床・壁等の改修、歓談に手すりの設置、校舎棟屋上改修（平成29・30年度）

（4）快適な教育環境を実現するための改修

- ・普通教室と特別教室に冷暖房機設置（平成29・30年度）
- ・トイレの洋式化（平成29・30年度）

（5）その他の改修

- ・卒業制作記念品等の撤去（平成30年度）

委員長

今、説明のあった内容について意見・質問等あるか。

委員

登下校の門は今の門を使用するのか。向台小学校は正門前の道の歩道がとても狭いため、危険であるし、他の通行人に支障がでるのではないか。もう一つ門を作る予定はないのか。

委員

今のとおり1か所でも難しいことはないと思う。今後検討はするが、結局は同じ通りを通ることになるためあまり変わらないのではと思っている。

委員

卒業制作記念品は統合前年度の改修工事の中で撤去するとあるが、向台小学校50周年の時に作った石のモニュメントがある。それも含まれるのか。

委員

卒業制作記念品等というのは、卒業するときに児童が書いた絵や壁に掛けられているレリーフのことである。大きなものは工事で撤去する必要があるため、夏の改修工事に合わせて行う。このことは今後統合委員会ニュースに掲載して同窓生や地域の方に周知していく。

向台小学校は夏の改修工事に合わせて行うが、桃園小学校も校舎を解体する際は同じようになるので、両校とも撤去・廃棄というのが原則となる。その前に学校で写真を撮ったりしてデジタルで保存する。先ほど意見のあったモニュメント等については個別に相談させてもらいたい。

委員

同窓会でもどのように対応するのか話し合う必要があるので、周知していきたい。

委員

桃園小学校には100周年記念室があり、明治・大正からの資料が残っているが、それらも廃棄するのか。

委員

モニュメントと同じでどのようにするか相談しながら進めたい。

委員

そのようにお願いします。

委員

学校には地域から寄贈されたもの等歴史的なものが残っているため、今後それらをどのようにするか検討していく。

委員長

中野区歴史民俗資料館等の力も借りると良いと思う。ほかに質問等あるか、ないようであれば議事を進める。

議事（２）統合新校の校名の検討方法について

■資料「統合新校の校名の検討方法について」、事務局から説明

1 検討方法

校名を募集する場合

- ・関係者等へ校名を募集
- ・募集要項等は統合委員会ニュースやポスターなどで周知

校名を募集しない場合

- ・統合委員会委員から校名の案を出し、協議して決定

2 決定までの協議事項（次回からの協議内容）

校名を募集する場合

- ・募集する範囲
- ・募集の時期
- ・名称の制限を付けるか（例：現存する中野区立小学校名は利用できない等）
- ・文字の制限を付けるか（例：アルファベット、片仮名は利用できない等）
- ・校名の理由（説明）を書いてもらうかどうか 等

校名を募集しない場合

- ・委員からの校名候補の出し方（例：1人〇案考えてくる等）
- ・名称の制限を付けるか（例：現存する中野区立小学校名は利用できない等）
- ・文字の制限を付けるか（例：アルファベット、片仮名は利用できない等）

3 協議回数

来年度、4～5回の協議を経て、平成30年2月頃に校名候補を選定

委員長

今、説明のあった内容について意見・質問等あるか。本日は、これから校名を検討するにあたり校名を募集するか・しないかを決めてもらいたいとのことである。

委員

これまでのように募集していくのが公平な方法だと思う。

委員

同じく募集したい。ただし、募集するのであれば一番多い校名にならないということを明記してからやってほしい。

委員

人気投票みたいにならないように、また組織票に左右されないようにしたい。

委員

組織票でどちらかの校名になったら困る。

委員

新しい学校だから新しい名前で行くのがしっくりくる。

委員

募集するのであれば、応募用紙に住所と氏名を書いてもらいたい。責任を持って考えてもらいたい。

事務局

そのような応募用紙を作成する。また、募集にあたって制限を付けるかどうかは次回協議する。

委員

統合委員会で選定した校名候補がそのまま校名として決定するのか。

事務局

統合委員会で選定した校名候補を教育委員会に報告してもらうことになる。そこから覆ることはこれまではない。

委員

地域の方の最大の関心事は校名のことなので、しっかり協議していきたい。

委員

これまで決まった校名を見たが、なかなか難しいと思う。統合委員会委員も応募できるのでこれから考えたい。

事務局

今回出た意見を反映させた募集要項・応募用紙等を作成するので、今回はそれをもとに協議してもらいたい。

委員長

では、校名について募集して検討していくということでよろしいか。

一異議なし

議事（3）その他

委員長

本日予定していた議題は以上で終了となる。最後に次回の開催日程について、事務局から説明がある。

事務局

次回の開催は5月中旬でお願いしたい。日程は4月決定する。

委員

弥生区民活動センターは5月頃から工事があると思うので確認してほしい。

委員長

それでは次回の日程は5月中旬で、決まり次第委員に知らせるとのことである。その他に何かあるか。ないようであれば、本日の統合委員会はこれをもって終了する。